

## QuickTox™ デオキシニバレノール(DON) テスト

デオキシニバレノール (DON) は赤かび病菌などにより産生されるトリコテセン系マイコトキシン (カビ毒) の 1 種であり、ここ数年のあいだには輸入品のみならず国内麦類においても汚染の実態が報告されてきました。厚生労働省では小麦中の DON の暫定基準値を 1.1ppm、食糧庁の通知においては一部 ELISA キットによるスクリーニング基準を 0.7ppm としています。また飼料における残留許容値は 4ppm となっています。

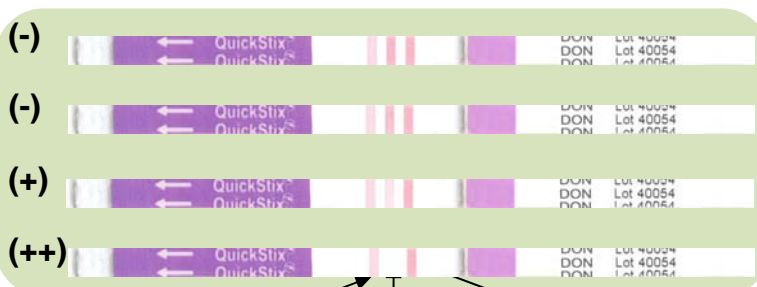
QuickTox DON キットは、遺伝子組換え作物 GMO のテストで世界的に著名な EnviroLogix 社が開発したラテラルフローテストで、目視によりスクリーニング判定ができます。さらに、●基準値をバッファー液の滴下量によって 0.5 から 2.0ppm まで任意に設定できる、●陰性コントロールライン NC だけでなく基準値参照ラインを用いて比較判定できる、●インキュベーターやリーダーを使用しない、といった特長を有しています。

このほか、定量ができるストリップテスト QuickScan DON および QuickScan システムもあります。

(製造 : EnviroLogix Inc.米国)

ver.AS204 1005

商品名	QuickTox™ デオキシニバレノール(DON)テスト 50 本 (3245EL1041)
価格	税別 40,000 円/キット
保管条件	冷蔵 2~8°C、湿気厳禁
製品内容	ラテラルフローストリップ 50 本 (耐湿容器)、希釈バッファー液 DB 反応容器 50 個、バッファー用スポイト 50 個、試料用スポイト 50 個
目的・用途	小麦・大麦・トウモロコシ中のデオキシニバレノールのスクリーニング検出
原理・性能	ラテラルフロー (イムノクロマト) 法 検出限界は 0.5ppm 希釈バッファー液量により、検出基準を 0.5、1 あるいは 2ppm と設定可能
前処理	20 メッシュ相当まで破碎・均一化した試料に対し 5 倍量の水を加え 30 秒間激しく振とうし、静置、上澄みを試料液とする。
操作	ラテラルフローストリップの操作 (室温に戻してから必要なストリップをとる) ①反応容器に基準所定のバッファー液 (※1) と 150μL の試料抽出液を加える。 ②カップ内をよく混ぜてから、ストリップ下端を浸す。 ③5 分後直ちに、テストラインの呈色を目視で確認する。 ④基準値参照ラインより濃い発色 = 陰性と判断。
他に必要な試薬器材	水、ミキサー・ミル 1 式、マイクロピペット フタ付きジャー、タイマー



左から 基準参照・テスト・陰性コントロールのライン

(※1) 2ppm 基準=バッファー1000μL、1ppm 基準=バッファー500μL、0.5ppm 基準=バッファー250μL